

<経済>

シンガポールでの外国人雇用環境

シンガポール人材開発省 (MOM) の 2016 年度の雇用統計によれば、シンガポールにおける就業者数は前年度 16,400 人増加の 367 万人となりました。就業者数は増加したものの、その伸び率は 2003 年以來の低いものとなっています。

<対前年度比での就業者数の増加数>

2014 年	2015 年	2016 年
130,100 人増加	32,300 人増加	16,400 人増加

新規就業者の内訳ですが、シンガポール国民と永住権取得者に関しては 10,700 人 (前年は 700 人) と増加したのに対し、外国人は 5,700 人 (前年は 31,600 人) と大きく減少しました。この背景には、国内の景気減速や縮小する労働市場により外国からの流入者が減少しているといった要因があげられます。

また、従来からも政府による外国人労働者流入抑制策がとられていましたが、さらに 2017 年 1 月からは、外国人労働者に対する新たな基準が施行されました。外国人がシンガポールで働く際に発行される雇用許可証「エンプロイメント・パス (EP)」の発給基準が厳格化され、3,600 シンガポールドル (約 288,800 円) 以上の月収が必要となりました (従来は 3,300 シンガポールドル)。シンガポールとしては、企業に自国民の雇用を優先し、外国人を雇用する場合は高い技術や専門性を持つ人材に限るべきとの考えがあるのですが、外国企業からすればより EP 取得のハードルが上がることとなります。

今回の発給基準の変更について、企業側から雇用市場を見た場合、以下のような影響が予想されます。

- ①自社の外国人従業員に対する賃上げ
- ②従業員構成をシンガポール人中心に変更
- ③EP を取得できなくなった外国人人材の増加

シンガポールへの進出を検討する企業からすると、上昇傾向にある人件費は大きな課題であり、その人件費がさらに上昇することになる今回の変更はネガティブな事項です。しかしながら上記③のように、雇用市場で外国人が増加することで、従来であれば採用できなかったような優秀な人材を雇用できる可能性も広がっており、企業の成長に役立つ面もあるものと考えられます。

<社会>

苦行のお祭りタイプーサム

見るだけでも体が痛くなるヒンドゥー教の奇祭「タイプーサム」が、先日シンガポールで行われました。このお祭りは毎年ヒンドゥー歴の10月の満月の日に行われ、信者たちが、ヒンドゥー教のシバ神の息子ムルガ神に一年の無病息災や平安を願う儀式で、感謝の証として体に牛糞の灰を体中に塗り、針や串を体に指して練り歩く、というものです。

このお祭りに参加する信者たちは、身体に刺した針で固定したカバディ（半球形の鉄製の儀式道具）を肩に乗せ、さらには、舌や口に鉄棒を貫通させ、かつ剣山のように針が敷き詰められたサンダルを履くといった苦行を実践します。

「牛糞の灰を体に塗る?」「針や串を体や舌に刺す?」「剣山サンダルを履く?」と????となるお祭りですが、見ていると本当に大丈夫なのかと心配になります。お祭りへの参加者は、魂が解放されて痛みを感じなくするため、一か月ほど前から肉食やアルコールを絶ち、心と体を整えて臨むそうです。痛ければ痛いほどご利益があるとはいえ、強い信仰心がないと挑戦できない苦行です。

信者たちは、夕方にカバディを体に付けて歩き始めます。ゴールのスリ・タンダユタパニ寺院までは、約8時間。針を体に刺しているため、座っての休憩も難しいようです。その間、楽器隊の演奏で盛り上がってくると、針を体に食い込ませながら、カバディを担いだまま踊る。さすがインドです。

今では、本国インドでは、タイプーサムは危険すぎて禁止されており、シンガポールとマレーシアのみで行われています。タイミングが合えば、是非ご見学ください。見た目のインパクトとともに、苦行に耐える参加者の表情から神々しさも感じることができます。けたたましくインディアンドラムが鳴らされていますので、ルート近くまで来るとすぐにわかると思います。



シンガポールの見本市情報

Marina Bay Sands

名称	期間
MAISON & OBJET ASIA	3月7日～3月10日
インテリアデザイン、ライフスタイル、ホームデコレーション	
Sea Asia 2017	4月25日～4月27日
デッキ機器、オフショア機器、クルー教育、船舶修理、船舶オペレーション	
TFWA Asia Pacific Exhibition & Conference	5月7日～5月11日
香水、化粧品、アクセサリ、ワイン、ジュエリー、時計、菓子	
Communic Asia 2017	5月23日～5月25日
ブロードバンド、ホームデバイス、配信ネットワーク、モバイルセキュリティ	
Enterprise IT 2017 Exhibition	5月23日～5月25日
3Dプリント、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、eサービス、ソフトウェア	

Suntec

名称	期間
Biopharma Asia Convention 2017	3月21日～3月23日
臨床試験、製造、サプライチェーン、ワクチン、抗体	
Asia Health Exhibition 2017	4月3日～4月5日
病院・医療製品、サービス	
Broadcast Asia 2017	5月23日～5月25日
オーディオ、ラジオ、配信	

Singapore EXPO

名称	期間
International Furniture Fair Singapore	3月9日～3月12日
ベッドルーム家具、キッチン家具、照明器具、リビングルーム家具	
The Décor Show	3月9日～3月12日
寝具・リネン、漆器、カーペット・ラグ、照明器具・アクセサリ、ファブリック装飾アイテム	
Tyrexpo Asia 2017	3月21日～3月23日
タイヤ、ケーシング、チューブ、タイヤアクセサリ、シャーシシステム	
21th Manufacturing Technology Asia 2017	4月4日～4月7日
エレクトロニクス、工業用塗料、マテリアルハンドリング、金属切削工作機械	

* 上記の見本市は予定が変更になる場合もありますのでご注意ください。

★ トピックスレポート（シンガポール人スタッフ便り）★

～シンガポールの旧正月料理～

日本で正月料理と言えばおせち料理ですが、ここシンガポールでは旧正月になれば、「ローヘイ（Lo Hei）」と呼ばれる料理を家族友人みんなで食べる文化があります。

ローヘイとは大根、人参、キュウリなどの野菜を千切りにしたものとサーモンの刺身に、すりつぶしたピーナッツ、ゴマとワンタンから作ったクラッカーを加え、プラム・ソースと胡椒、ライム、シナモンパウダーをかけたシンガポール独自の旧正月料理です。

また、日本のおせち料理と同じく、ローヘイの食材にはそれぞれ意味があります。

- 刺身：有り余るほどの富
- 大根：仕事での成功
- 人参：幸運を招く（紅は中国で縁起のいい色）
- キュウリ：いつもでも若々しく
- ワンタン：黄金
- プラム・ソース：財をもたらす
- 胡椒：降り注ぐ笑顔
- ライム：幸運、成功、財

食するときには、みんなで立ち上がって「ローヘイ（すくい上げるといふ意味があります）」と言いながら、長い箸を使ってかき混ぜます。また、そのときにより高く食材をすくい上げた方が縁起が良く、また願いが叶うとされているため、高くすくい上げながら各々願い事を言います。これはすくい上げる動作が網を投げる動作に似ており、福を呼び寄せることができるためだと言われています。

にぎやかに新年を祝うローヘイですが、難点がひとつ。各々高くすくい上げた食材をそのままお皿へ落とすので、お皿だけでなくテーブルも汚れてしまうのです。今年はシンガポール支店開設後の最初の旧正月であり、支店行員みんなでテーブルを囲みローヘイを食べましたが、食材を持ち上げては落とし持ち上げては落とす食べ方に日本人の皆さんはとても驚いていました。



シンガポールへお越しの際は、ローヘイで正月気分を味わってみてはいかがでしょうか。